

令和2年度 学校評価 自己評価書

学校名 北海道新篠津高等養護学校

1 本年度の重点目標

- 1 新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえた学習機会の保障
- 2 チームで「協働・協力」、「改善」の取組の実施
- 3 学校の取組の「見える化」

2 本年度の経営方針

- 1 教職員の情報共有と信頼・協力関係を基盤に、チームとして学校経営に積極的に参画する意識を高め、教育活動と経営活動が一体化した組織運営を推進す
- 2 教職員の実践的指導力、専門性の向上と学校力の向上を図るため、組織的な実践研究・研修を実施する。
教育活動が一体化した組織運営の推進に努める。
- 3 生徒の生命・健康・人権を守るための学校の危機管理能力の向上を図る取組を推進する。
- 4 生徒一人一人が学びやすく、生活しやすい環境・条件整備を図る。
- 5 教職員の働き方を改善し、協働性、同僚性を発揮することができる職場環境・条件整備を図る。
- 6 学校予算、団体会計等の計画的、効果的な執行と適正な事務処理を実施する。

3 自己評価結果

自己評価の達成状況や取組の適切さについては、職員評価と保護者アンケート関連項目を併せるとともに、自由記述の内容も加えて評価する。

A(達成) B(おおむね達成) C(やや不十分) D(不十分)

分野・領域	評価項目	達成状況	取組の適切さ	検討事項・改善の方策	各アンケート関連項目
学校経営	学校教育目標を達成するという視点で、校経営方針(教育方針、経営方針、指導の重点、経営の重点等)が設定されている。	A	A	学校教育目標を達成するという視点で、校経営方針を設定しています。 今後も教職員が情報共有を密にし、チームとして学校経営に積極的に参画できるよう、方策を検討します。	教1
	管理職は、適切にリーダーシップを発揮し、学校経営を行っている。	B	A		教2
	教職員は、情報共有と信頼・協力を基盤に、チームとして学校経営に積極的に参画している。	B	B		教3
教育課程	新学習指導要領を踏まえた教育課程の改善への取り組みが進められている。	B	B	本校のこれまでの取組の良さを生かしつつ、令和4年度からの新学習指導要領に基づいた教育課程の編成に努めます。	教4
個別の計画等	「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」及び「個別の生活支援シート」は、保護者や関係機関との連携のもと策定し、生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導が行われている。	B	B	今後も生徒一人一人に応じた適切な指導と必要な支援のために活用するよう努めます。	教5、保3
授業改善	地域資源を活用した体験的な学習や実践的、社会貢献的学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進められている。	A	A	特に今年度はICT機器を活用した学習が進められ、積極的な活用を図りました。 今後も授業改善に役立てていきます。	教6、保4
学習指導	生徒一人一人の障がいの状態や適正を踏まえ、生活に結び付いた知識、技能、態度について实际的に指導し、生徒の生活する力を高めている。	B	B	作業学習は、生徒に働く意欲を培い、将来の職業生活や職業自立に必要な意識、技能、態度等を総合的に指導しています。 今後もキャリア教育と関連付けた指導に努めます。	教7、保1
	生徒一人一人の能力や適正を踏まえた指導を通して働く意欲を培い、将来の職業生活や職業自立に必要な知識、技能、態度について総合的に指導し、生徒の働く力を高めている。	A	A		教8、保2
寄宿舎指導	生徒一人一人の障がいの状態や特性に即した指導内容や方法を工夫し、基本的な生活習慣や社会性を身に付けられるよう指導が行われている。	B	C	今後は、指導の在り方について、研修を深め、共通理解を図りながら、効果的な寄宿舎生活の指導に努めます。	教9、保9
行事・余暇	生徒の実態や地域の特色など生かした学校行事や、寄宿舎の活動を実施している。	C	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、十分な活動ができませんでした。今後は、実施に向けた内容や方法の工夫の検討を進めます。	教10 保10
通知票等	「通知表」及び「個別の生活支援シート」は、学習内容、生徒の様子、指導の手立て及び指導の成果や課題について、保護者に分かりやすく記入されている。	B	B	学習内容や指導の成果、課題が分かりやすく標記するよう努めます。	教11、保5

生徒指導	生徒理解と信頼関係の構築に努め、生徒一人一人の良さや個性を生かした指導の工夫を図り、生徒が主体的に判断したり、共感的に理解し合う関係を重視した指導に努めている。	B	C	今後は、生徒の個性や障がい特性など生徒理解に努めるよう、研修を行い、生徒一人一人の良さや個性を生かした指導の工夫に努めます。	教12 保14
	生徒の生命・健康・安全を守るため、生徒の状況を共有し、生徒指導上の問題に適切に対処するための体制が整備され機能している。	B	B		教13、保6
健康・安全指導	自他の命や体を大切にする態度及び知識を養う指導の取組が、適切に行われている。	B	B	今後も、新型コロナウイルス感染症への対応を含めて、日常的な安全点検や安全指導など、教職員一人一人が危機意識をもって当たるよう努めます。	教14、保8
	危機管理体制が整えられ、日常的な施設設備の安全点検や安全指導が、適切に行われている。	A	A		教15、保8
進路指導	生徒一人一人が進路を主体的に選択できるような進路指導を行うとともに、進路選択に必要な情報を生徒及び保護者に対して十分に提供している。	B	B	今後も生徒が主体的な進路選択ができるよう、分かりやすい情報提供に努めます。	教16、保7
情報発信	学校の教育方針や教育活動、寄宿舎の生活などについて、地域や保護者、関係機関等に対して適切に情報発信を行っている。	A	A	新型コロナウイルス感染症の感染防止から、授業参観や寄宿舎への出入りが制限されているため、学校や寄宿舎での取り組みを積極的に発信するよう努めます。	教17 保11 保13
センター的機能	教育相談や地域の小・中学校及び高等学校等への支援、地域、関係機関等との連携、協力など、特別支援教育のセンター的役割を果たしている。	A	A	新型コロナウイルス感染症への感染防止を徹底しながら、地域のセンター的機能を発揮するよう今後も努めます。	教18
教職員	教職員一人一人が教育公務員としての自覚を常にもち、服務規律の遵守や体罰の防止、交通違反や事故の防止に努めている。	B	C	教職員一人一人が、教育公務員としての心構えをもち、生徒の人権を尊重し、生徒の手本となるよう研修を深め、事故の防止に努めます。	教19
	教職員は、教育公務員としてふさわしい服装や身だしなみ、節度ある行動や態度・言葉遣いなどで教育活動を行っている。	C	C	また、教職員間の連絡を密にしながら、業務の見直しや行事の精選、会議の進め方など改善を図るよう努めます。	教20 保15
	本校の「働き方改革アクション・プラン」に基づき、業務の精選や勤務時間を意識した働き方の推進に努めている。	B	B		教21
	校内外の研修を積極的に活用し、実践的指導力や専門性向上に努めている。	B	B		教22
PTA活動	保護者と教職員が連携、協力して活動を推進し、充実した活動となっている。	A	A	今後は、新型コロナウイルス感染症への感染防止を踏まえた上で、活動の在り方を工夫しながら進めていきます。	教23 保16

4 自己評価における特記事項

○教職員評価及び保護者のアンケートで同内容の項目をまとめ、それぞれの結果を基に分析し、改善の方策を検討し

令和2年度「学校評価」 教職員が行う評価票

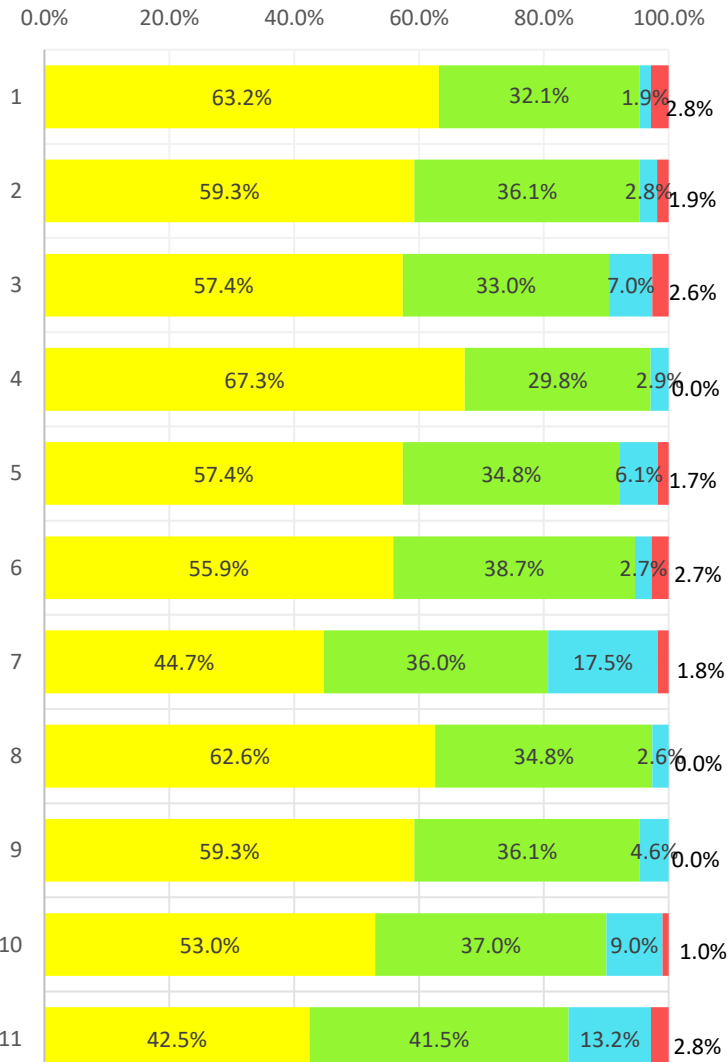
◇ 各評価項目について、ABCDの4段階で評価する。

A: 十分(適切)である B: おおむね十分(適切)である C: やや不十分である(やや不適切である) D: 適切でない、改善を要する

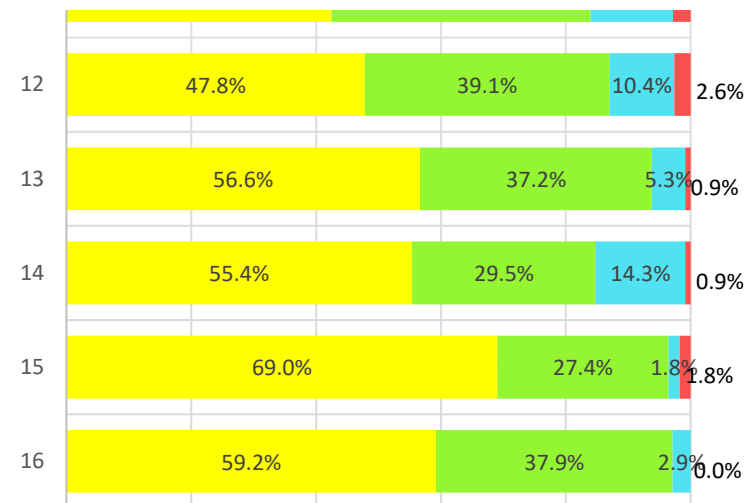
区分	No.	評 価 項 目	評価の観点(指標)	評価欄				
				A	B	C	D	なし
学校経営	1	学校教育目標を達成するという視点で、学校経営方針(教育方針、経営方針、指導の重点、経営の重点等)が設定されている。	学校経営方針	24.1	64.8	2.8	0	8.3
	2	管理職は、適切にリーダーシップを発揮し、学校経営を行っている。	経営の方針・経営の重点	26.9	59.3	4.6	0.9	8.3
	3	教職員は、情報共有と信頼・協力を基盤に、チームとして学校経営に積極的に参画している。	各組織間の連携、学舎連携 予算の執行等	19.4	62	10.2	0	8.3
教育課程	4	新学習指導要領を踏まえた教育課程の改善への取り組みが進められている。	年間授業時数、教科等を合わせた指導、各教科等の指導、校内研究等	21.3	58.3	10.2	0.9	9.3
個別の指導計画 個別の生活支援シート等	5	「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」及び「個別の生活支援シート」は、保護者や関係機関との連携のもと策定し、生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導が行われている。	長期目標・重点目標・各教科等の目標の設定と評価等	16.7	64.8	10.2	0	8.3
授業改善	6	地域資源を活用した体験的な学習や実践的、社会貢献的学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進められている。	I C Tの活用 体験的学習 実践的、社会貢献的学習の推進	24.1	63	2.8	0	10.2
学習指導 (各教科等) (生活単元学習) (総合的な学習の時間)	7	生徒一人一人の障がいの状態や適正を踏まえ、生活に結び付いた知識、技能、態度について实际的に指導し、生徒の生活する力を高めている。	各教科等の年間指導計画、基礎基本の定着、生活に結び付いた授業実践、教材の工夫、情報機器の活用等	20.4	64.8	6.5	0	8.3
学習指導 (作業学習)	8	生徒一人一人の能力や適正に着目した指導を通して働く意欲を培い、将来の職業生活や職業自立に必要な知識、技能、態度について総合的に指導し、生徒の働く力を高めている。	各学科の年間指導計画、職業生活・職業自立に結び付いた授業実践、教材の工夫、キャリア教育全体計画等	24.1	63	3.7	0	9.3
寄宿舎指導	9	生徒一人一人の障がいの状態や特性に即した指導内容や方法を工夫し、基本的な生活習慣や社会性を身に付けられるよう指導が行われている。	寄宿舎生活全般における指導の工夫、基本的な生活習慣を高める指導等	15.7	63	9.3	0	12
学校行事・余暇活動	10	生徒の実態や地域の特色など生かした学校行事や、寄宿舎の活動を実施している。	学校行事の計画、寄宿舎の余暇活動等	18.5	59.3	11.1	1.9	9.3
通知表(学校) 個別の生活支援シート (寄宿舎)	11	「通知表」及び「個別の生活支援シート」は、学習内容、生徒の様子、指導の手立て及び指導の成果や課題について、保護者に分かりやすく記入されている。	適切な目標設定、目標に正対する評価内容の記述等	16.7	63	10.2	0	10.2
生徒指導	12	生徒理解と信頼関係の構築に努め、生徒一人一人の良さや個性を生かした指導の工夫を図り、生徒が主体的に判断したり、共感的に理解し合う関係を重視した指導に努めている。	生徒理解、適切な指導と必要な支援	18.5	68.5	2.8	0	10.2
	13	生徒の生命・健康・安全を守るため、生徒の状況を共有し、生徒指導上の問題に適切に対処するための体制が整備され機能している。	生徒指導連絡会、保護者との連携、ケース会議等	20.4	65.7	4.6	0	9.3
健康・安全指導	14	自他の命や体を大切にする態度及び知識を養う指導の取組が、適切に行われている。	L H R、保健室経営、校内救急体制、家庭や関係機関との連携、寄宿舎指導等	25.9	60.2	4.6	0	9.3
	15	危機管理体制が整えられ、日常的な施設設備の安全点検や安全指導が、適切に行われている。	避難訓練等安全指導、危機管理マニュアルの活用 新型コロナウイルスへの対応等	24.1	56.5	9.3	0.9	9.3
進路指導	16	生徒一人一人が進路を主体的に選択できるような進路指導を行うとともに、進路選択に必要な情報を生徒及び保護者に対して十分に提供している。	進路指導全般、L H R・作業学習及びキャリア学習等の充実等	24.1	60.2	7.4	0	8.3
情報発信	17	学校の教育方針や教育活動、寄宿舎の生活などについて、地域や保護者、関係機関等に対して適切に情報発信を行っている。	保護者懇談会、HP、学校だより、オープンスクール、学校公開、校内掲示等	19.4	63	8.3	0	9.3
センター的機能	18	教育相談や地域の小・中学校及び高等学校等への支援、地域、関係機関等との連携、協力など、特別支援教育のセンター的役割を果たしている。	教育相談、地域等への支援、情報提供等	30.6	57.4	2.8	0	9.3
服務規律	19	教職員一人一人が教育公務員としての自覚を常にもち、服務規律の遵守や体罰の防止、交通違反や事故の防止に努めている。	自己研鑽、法令遵守等	28.7	61.1	1.9	0	8.3
教職員の姿勢	20	教職員は、教育公務員としてふさわしい服装や身だしなみ、節度ある行動や態度・言葉遣いなどで教育活動を行っている。	教職員の適切な言動や態度等	13	63	14.8	0	9.3
働き方改革	21	本校の「働き方改革アクション・プラン」に基づき、業務の精選や勤務時間を意識した働き方の推進に努めている。	業務の精選・分担、教職員間のコミュニケーション 在校等時間を意識した業務等	15.7	63	12	0	9.3
研究・研修 自己研鑽	22	校内外の研修を積極的に活用し、実践的指導力や専門性向上に努めている。	研究計画、校内研修の推進、校外研修旅費の活用等	16.7	61.1	13	0.9	8.3
P T A活動	23	保護者と教職員が連携、協力して活動を推進し、充実した活動となっている。	P T A事業計画、学級レク、保護者及び教職員の参加等	20.4	59.3	10.2	0.9	9.3

評価尺度	A(1):十分 B(2):やや十分 C(3):やや不十分	※回収率	115/132名	87.1%
	D(4):不十分 E(5):分からない			

No.	評価項目	A (1)	B (2)	C (3)	D (4)	? (5)	総数	Aの割合	A+B	評価	R元年度 評価
1	学校は、生徒一人一人の障がいの状態や特性を踏まえ、生徒が見通しや意欲がもてる指導(授業)が行われていると思いますか。	67	34	2	3	1	107	63.2%	95.3%	3.56	3.43
2	学校は、生徒一人一人の能力や適性に着目した指導を通じて働く意欲を培い、働く力を高めていますか。	64	39	3	2	0	108	59.3%	95.4%	3.53	3.47
3	生徒の課題や目標などについて、保護者と担任及び室担とで共通理解が図られていますか。	66	38	8	3	0	115	57.4%	90.4%	3.45	3.46
4	学校は、地域資源を活用した体験的な学習や、コンピュータやタブレットなどの、情報教育に関する学習を適切に行っていると思いますか。	70	31	3	0	10	114	67.3%	97.1%	3.64	3.54
5	学校や寄宿舎は、生徒の良い点を評価し、生徒の様子や指導の手立て、成果や画題などを分かりやすく伝えていると思いますか。	66	40	7	2	0	115	57.4%	92.2%	3.48	3.48
6	学校は、学年や発達段階に応じた生徒指導(いじめ防止・男女交際・身だしなみの指導など)を適切に行っていると思いますか。	62	43	3	3	4	115	55.9%	94.6%	3.48	3.48
7	学校は、生徒や保護者に対して進路を主体的に選択できるような進路指導を行うとともに、進路選択に必要な情報を提供していますか。	51	41	20	2	0	114	44.7%	80.7%	3.24	3.42
8	学校は、日頃から危機意識をもち、事故防止や安全指導に努めていると思いますか。(新型コロナウイルスへの対応を含みます。)	72	40	3	0	0	115	62.6%	97.4%	3.60	3.63
9	寄宿舎は、基本的な生活習慣や社会性が身に付く指導を、適切に行っていると思いますか。	64	39	5	0	5	113	59.3%	95.4%	3.55	3.61
10	学校や寄宿舎は、生徒の実態や地域の特色を生かした学校行事や、卒業後の生活につながるような余暇の指導を行っていると思いますか。	53	37	9	1	13	113	53.0%	90.0%	3.42	3.56
11	寄宿舎での生活の様子が、保護者に伝わるようになっていていると思いますか。	45	44	14	3	6	112	42.5%	84.0%	3.24	3.51



12	各種事務手続きは、分かりやすく説明していると思いますか。	55	45	12	3	0	115	47.8%	87.0%	3.32	3.28	↑
13	学校は、学校だよりや学級通信、ホームページなどを通して、教育活動を十分に説明していると思いますか。	64	42	6	1	1	114	56.6%	93.8%	3.50	3.49	↑
14	学校は、保護者との相談の中で、生徒指導や進路等の課題について、関係機関との連携を図りながら適切に行っていると思いますか。	62	33	16	1	3	115	55.4%	84.8%	3.39	3.43	↓
15	教職員は、ふさわしい服装や身だしなみ、言葉遣いが行われていると思いますか。	78	31	2	2	2	115	69.0%	96.5%	3.64	3.54	↑
16	PTA活動は、保護者と教職員が連携、協力して活動を推進し、充実した活動になっていると思いますか。	61	39	3	0	12	115	59.2%	97.1%	3.56	3.61	↓



○意見等自由記述

【1学年】

- ・月々の諸費を、口座引き落としにしてくれると助かります。
- ・コロナ対応をしっかり行ってくれているので、安心して通わせられます。
- ・子どもが寄宿舎へ入る時、一緒に荷物を整理できず、何がどこにあるのか分からない状況で、コロナの影響でその後親が部屋に入りづらいので、片付けが苦手な子どもの注意もできないので、衣替えの時期などにチェックしたいです。洗剤や衛生用品など購入のために残量も確認したい。(子どもから聞き取りをしていますが、分からずに多めに買っているかもしれないので。可能であれば他のこと接触を避けるため、時間をずらしていくことも考えています。)
- ・今年度は「いつもどおりの学校生活」を送るために、いつも以上に気を張り、時間を掛けてやらなければならないことがたくさんあったと思います。先生方のおかげで子どもが学校生活を遅れたことをとてもありがたく思っています。
- ・PTA活動は今年はコロナの影響で難しかったようですね。役員の方も大変かと思いますが、よろしくお願いします。

【2学年】

- ・なかなか学校に行く機会は少ないですが、クラスの様子はおたよりとノートにとても丁寧に記入していただいて様子が分かり、親子の会話にもつながっています。寄宿舎だよりのようなものもあったらうれしいです。
- ・障害者割引の証明書を事務室にお願いしたところ、私たちよりも詳しいと思っていましたがよく分かっていなかった上に、提出期限が近くなり連絡すると、まだ取りかかっていない状況でした。このような書類は早くお願いします。
- ・学校と寄宿舎間の連絡が行き届かない時があります。子どもたちが安心して過ごせるよう、もっと密に連絡を取ってほしいです。
- ・同じ学年なのに各クラスにおいて夏・冬休みの宿題や現場実習の話など違いがあります。現場実習の話は聞いていないことをたくさん他のクラスの方から聞きました。統一してほしいです。
- ・学校のHPは2年生の活動の様子ばかりです。他の学年や部活動の様子もUPしてほしいです。他の学校のHPには、学校祭の一般公開中止のお知らせがUPされていました。こういったこともUPしたらいいと思います。
- ・このご時世の中、決まったせまい空間の中ですごしている生徒達のために、いろいろな企画をねって下さり、ありがとうございます。時には、学校の先生と寄宿舎の方で方向性がちがう事もあると思いますが、保護者、子供が納得してそれを楽しみにしているのであればいいのではないのでしょうか。去年のような楽しい寄宿舎の行事ができない中で、何かしようとしてくれるのは、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。当たり前でできた行事ができない今、学校生活の思い出が少なくなるのはかわいそうです。これからもできることでいいので頑張ってください。

【3学年】

- ・個人懇談なので学校生活のことは見学できたり話す機会もあるので分かるのですが、普段の生活は分かりにくいです。おそらく問題があれば伝えてくれるのでその点は分かるのですが、毎日の日記はかなり難しいと思うのですが、ちょっとしたエピソードなど何かしらほしい。多くの生徒を見ていただいている先生方には感謝しています。
- ・寄宿舎の先生が替わってから、寄宿舎での生活の様子が分からなくなった。
- ・今年度は未経験な新型コロナウイルス感染症対策など生徒達への安全を考慮いただきありがとうございます。現在まで感染者が出ていないことに感謝します。しかし、定期的になどのような対策などがされているのかお知らせいただくと安心です。感染対策は継続していかなければならない状況ではありますが、同様の対応のままでいることで生徒達のストレスが増してきているようにも思います。
- ・いつもお世話になりありがとうございます。おかげさまでかなり成長を感じています。
- ・心配事がない訳ではないのですが、寄宿舎に在ることである程度、集団生活、洗濯等やっているかと思います。友達といってお互い生長しあっている面もあれば気づかいも大切だと思います。

結果

- ・Aの割合が60%以上の項目 No1、4、8、15
- ・Aの割合が50%以下の項目 No7、11、12
- ・A+Bの割合は、全ての項目で80%以上である。95%以上は、7項目で、90%未満は、4項目。
- ・評価が昨年度と比べて8項目で下がっている。評価が上がっている項目は6項目。

考察

- ・学校や寄宿舎での指導について概ね高い評価となっています。反面、その内容について十分に伝えられていないことが評価の低さから考察できます。学習の様子や寄宿舎生活の様子などを通信など様々な方法で情報発信することが必要です。
- ・情報教育に関する項目について評価を大きく上げています。IpadなどICT機器を活用した学習が高く評価されています。
- ・新型コロナウイルス感染症への感染防止の取り組みを含めた学校の危機管理について、高い評価を得ています。定期的な情報提供などを心掛け、学校・寄宿舎・家庭が連携した危機管理を継続することが必要です。
- ・進路指導について評価が低いことから、進路選択に必要な進路指導や情報提供が必要で。
- ・保護者への事務手続きについて、分かりやすい説明と資料の提供について検討が必要です。
- ・「職務にふさわしい服装や身だしなみ」がA+Bの評価が高くなっています、引き続き服装や言動について襟を正していくこと、生徒の手本となるよう高い倫理意識や人権意識をもって職務に臨むことが大切です。

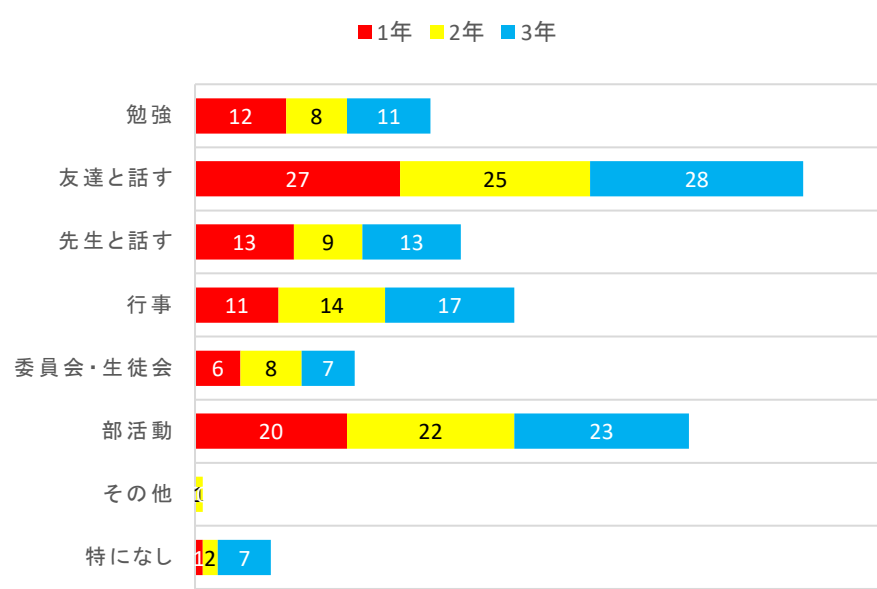
令和2年度 学校評価 生徒アンケート

提出率 1年:35／41 85. 4%、2年:38／46 82. 6%、3年:37／45 82. 2%
全体113／132 85. 6%(学年未記入者3名含む)

質問 1 学校生活で楽しいことは何ですか

	1年	2年	3年	計	順
勉強	12	8	11	31	5
友達と話す	27	25	28	80	1
先生と話す	13	9	13	35	4
行事	11	14	17	42	3
委員会・生徒会	6	8	7	21	6
部活動	20	22	23	65	2
その他	0	1	0	1	8
特になし	1	2	7	10	7
【今後の対応】 ・昨年度と同様に、友達と話すこと、部活動に対する満足度が高くなっている。引き続き、生徒間の良好な対人関係、自己肯定感を感じられる教育活動の推進に努めていく。					

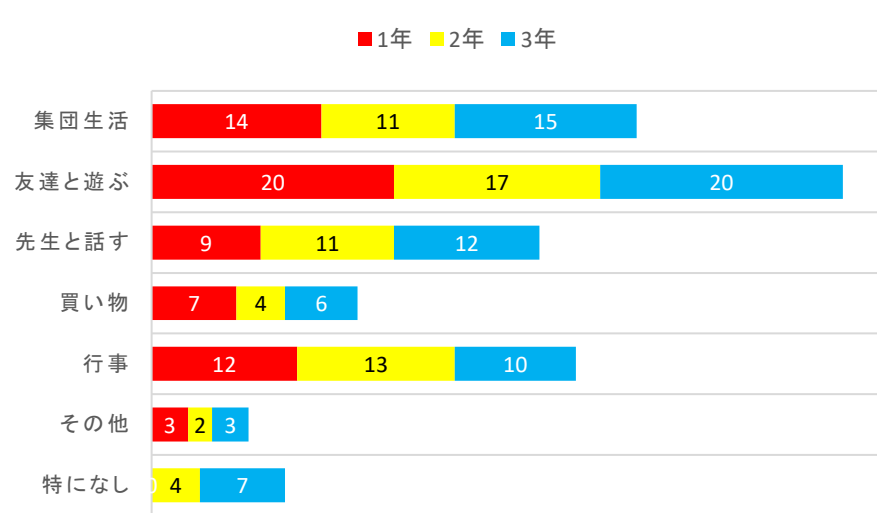
質問 1



質問2 寄宿舎生活で楽しいことは何ですか

	1年	2年	3年	計	順
集団生活	14	11	15	40	2
友達と遊ぶ	20	17	20	57	1
先生と話す	9	11	12	32	4
買い物	7	4	6	17	5
行事	12	13	10	35	3
その他	3	2	3	8	7
特になし	0	4	7	11	6
【今後の対応】 ・質問1の学校生活と同様の傾向である。					

質問 2



質問 3 学校の先生（寄宿舎の先生）は、丁寧な言葉や態度で接していますか？

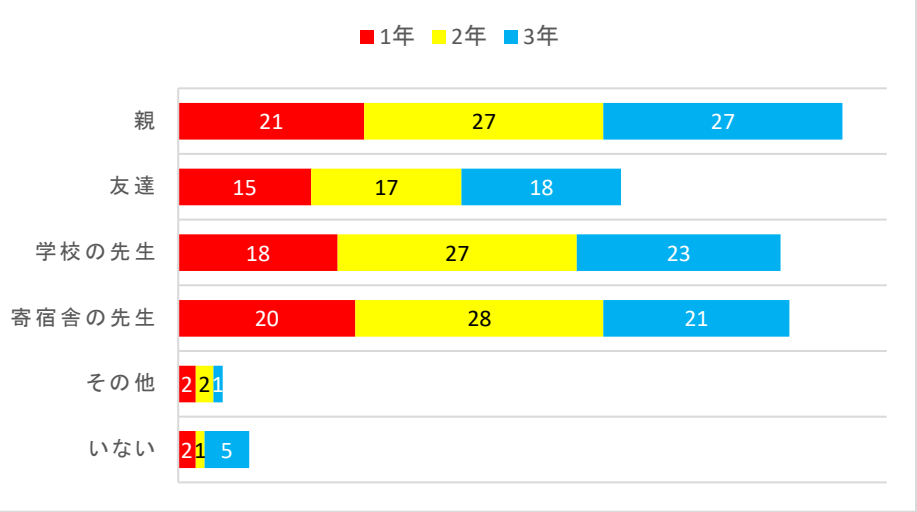
	1年	2年	3年	合計
学校の先生〈はい〉	33	37	32	102
学校の先生〈いいえ〉	2	1	4	7
学校の先生〈無回答〉	0	0	1	1
※〈はいの割合〉	94.3%	97.4%	88.9%	93.6%
寄宿舎の先生〈はい〉	31	34	32	97
寄宿舎の先生〈いいえ〉	1	1	3	5
寄宿舎の先生〈無回答〉	3	3	2	8
※〈はいの割合〉	96.90%	97.10%	91.40%	95.10%
【今後の対応】 ・全体的に職員の言動は、丁寧であると評価されている。なお、「言葉や態度」について「いいえ」「無回答」をつけている生徒もいることから、生徒の人権尊重、生徒への見本の観点から、今後も教職員の言動を学校全体で意識していく。				

(はいの数)／(はい+いいえの数)
無回答は、母数から除く

質問4 困ったことがあるときは誰に相談しますか？

	1年	2年	3年	計	順
親	21	27	27	75	1
友達	15	17	18	50	4
学校の先生	18	27	23	68	3
寄宿舍の先生	20	28	21	69	2
その他	2	2	1	5	6
いない	2	1	5	8	5
【今後の対応】 ・昨年度より、友達に相談することが減り、学校や寄宿舍の先生に相談するケースが増えています。生徒が困っていることや悩みを打ち明けられる環境を整えていく。					

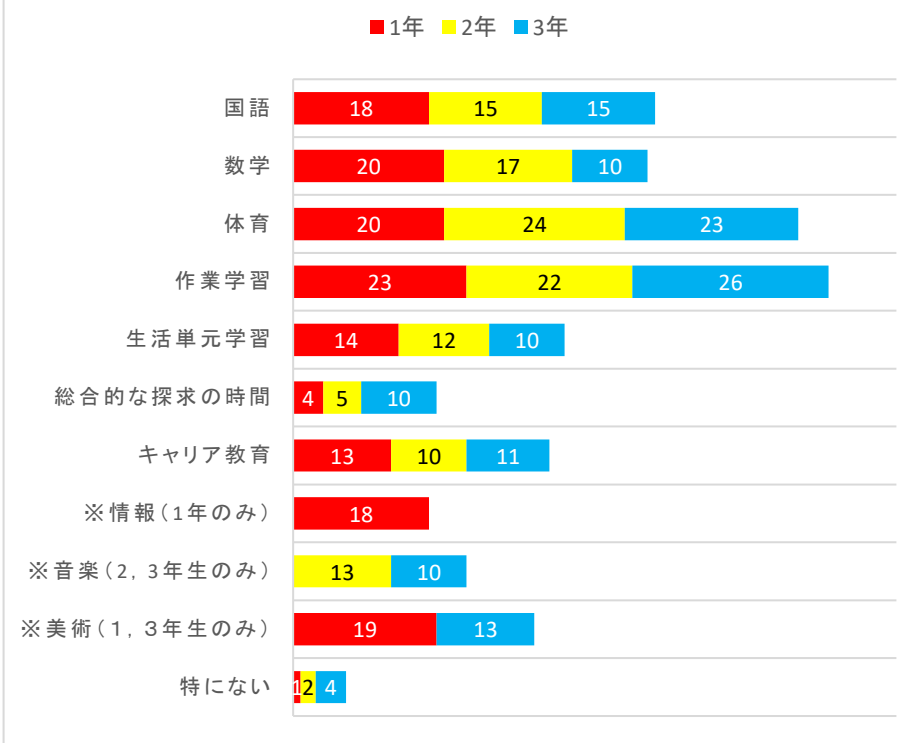
質問4



質問5 よくわかる授業は何ですか

	1年	2年	3年	計	順
国語	18	15	15	48	3
数学	20	17	10	47	4
体育	20	24	23	67	2
作業学習	23	22	26	71	1
生活単元学習	14	12	10	36	5
総合的な探求の時間	4	5	10	19	7
キャリア教育	13	10	11	34	6
※情報(1年のみ)	18			18	
※音楽(2, 3年生のみ)		13	10	23	
※美術(1, 3年生のみ)	19		13	32	
特にない	1	2	4	7	
【今後の対応】 ・昨年同様に教科間の差異が見られます。質問6の結果を踏まえ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努める。					

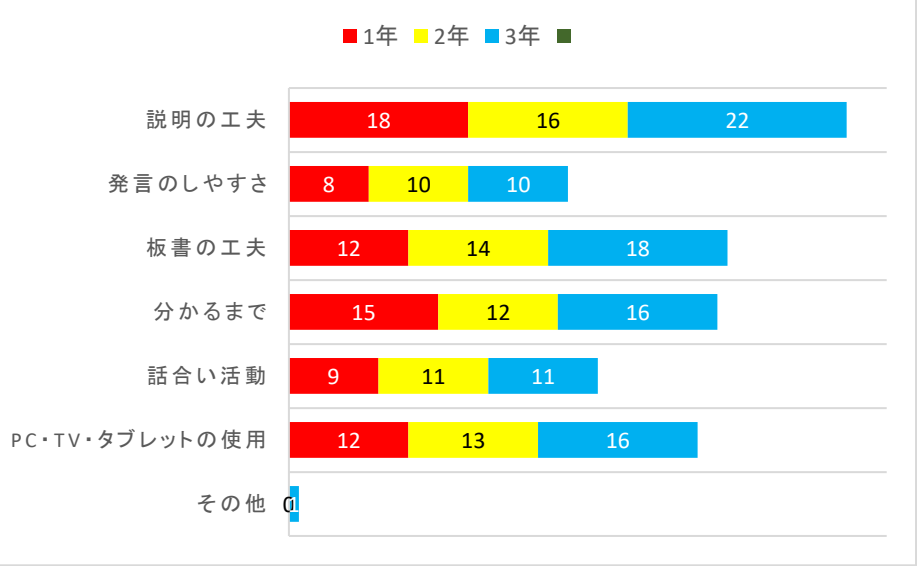
質問5



質問6 あなたにとってわかりやすい授業とはどのようなものですか？

	1年	2年	3年	計	順
説明の工夫	18	16	22	56	1
発言のしやすさ	8	10	10	28	6
板書の工夫	12	14	18	44	2
分かるまで	15	12	16	43	3
話し合い活動	9	11	11	31	5
PC・TV・タブレットの使用	12	13	16	41	4
その他	0	0	1	1	7
【今後の対応】 ・日々の授業において説明や板書の工夫がされていることが見られます。今後も、タブレット等のICTを活用しながら、生徒の特性に応じた分かる授業の充実に努めます。					

質問6



令和２年度 生徒アンケート自由記述

質問1 学校生活でたのしいことは何ですか？	・委員会活動の仕事をする事。
	・運動をすること。
質問2 寄宿舎生活で楽しいことは何ですか？	・自室の人と話したり、友達と遊ぶこと。(3人)
	・ゲームなど自分の好きなことをすること。(3人)
	・体育館遊び
質問4 困ったことがあるときは、誰に相談しますか？	・学園の先生(2名)
	・祖母や兄弟
質問12 その他、学校や寄宿舎の生活で気になっていることがあれば書いてください。	・日曜日に、寄宿舎に帰ってきて、月曜日に学校に行ったときに、少し切り替えが難しいところがあります。
	・寄宿舎の自動販売機の飲み物を変えて欲しい。
	・早く寝ていても、うるさくて寝られないので、静かにしてほしいです。
	・寄宿舎で、スマホを使えるようにしてほしい。
	・だいたい、仲の良い人同士が決まってい話すのが不安。
	・生徒を信じない先生がいる。何を言っても信じてもらえない。
	・生徒の事、全然わかってくれない。生徒のことを信じてくれない。
	・女子棟でも、友達と話す時間がもっと欲しいです。
・こまっていることを親に相談したら、親に心配かけんなっていわれました。こまっているのに自分でいえといわれました。作業も自分ではん断して動きなさいといわれ、早くしなさいといわれました。そのときは、どうしてよいかわからないでいました。わからないと先生に聞くと自分で考えなさいといわれました。作業、授業以外のときも全ていわれました。ろうか掃除のときに同級生の窯業科女子一人に悪口を園芸科の担任の先生がいたにもかかわらず、注いをしてくれなかった。生徒にあったおしえかたもしないことと、その日の先生の気分で怒られます。	
・作業の紙工覚えられないわかりやすくしてほしい。生活単元、先生のなにを言ってるのかわからない。国語の文章わからない。キャリアは何をやっていいのかわからない。音楽は、先生が早く話して内容がわからない、ベートベンの話とかわからない。体育はやっていいのかダメなのかわからないことある。	
・寄宿舎 このご時世の中、決まったせまい空間の中ですごしている生徒達のために、いろいろな企画をねって下さり、ありがとうございます。時には、学校の先生と寄宿舎の方で方向性がちがう事もあると思いますが、保護者、子供が納得してそれを楽しみにしているのであればいいのではないのでしょうか。 去年のような楽しい寄宿舎の行事ができない中で、何かしようとしてくれるのは、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。当たり前に出た行事ができない今、学校生活の思い出が少なくなるのはかわいそすぎます。 これからも出来る事でいいので頑張ってください。	
・水上さんから帰省日にバスの中でスマホゲームをしている1年生がいると聞いて気になっている。	
・心配事がない訳ではないのですが、寄宿舎に居る事である程度、集団生活、洗濯等やっているかと思います。友達というお互い生長しあっている面もあれば気づかいも大切だと思います。	